

第2回国際シンポジウムを終えて

第2回国際シンポジウムは、図像、民具、景観に関わる日本、韓国、中国の地域 東アジアに焦点が絞られた発表がなされました。カナダ、ブラジル、ヨーロッパからの先生方も交えて、東アジアの研究者がこのように交流できる機会は、研究そのものが実り豊かになっていくだけでなく、先の大戦を経験した東アジアの人々の心の中に、信頼と友情を育てていく平和の礎のように感じました。

このプロジェクトのサブリーダーを務めてくださった人類学者、川田順造先生は文化の比較には2つの方法があると述べています。そのひとつは、「連続の中の比較」で、今回のシンポジウムのように、伝播、系統、

影響が解明されます。そして、もうひとつの比較は、「断続における比較」、先生の提唱、文化の三角測量で、新しい時代まで相互に影響がなく、異なる指向性を持ってきた文化間の比較です。この比較は、人類文化の隠れていた根源的な意味を発見する手掛かりとなります。このプロジェクトが「人類文化」という言葉の持つ重さをこめた以上、今後、断絶における比較 東アジア以外の文化間の比較が、不可決のように思います。

このプロジェクトが、東アジアから人類文化のための研究へと、さらに発展することを信じると共に、若手研究者からプロフェッショナルな人類学者へと、私も成長していきたいと思えます。

大西 万知子(2003、2004年度COE研究員・RA) ONISHI Machiko

海外提携研究機関代表者懇談会

昨年度に引き続き、シンポジウムの初日、海外提携研究機関代表者懇談会を開催しました。8提携研究機関の代表者を招聘しましたが、欠席された香港大学と韓国の延世大学を除いた、6機関の代表が参加しました。懇談の中では今後のCOEの継続の見通しなどが話題になりましたが、プログラムの終了後も相互の交流を継続させ、今後は若手研究者だけではなく教員同士の交流を深めていくことを双方で確認しました。

日 時：10月28日(土) 12:15～13:30

場 所：神奈川大学横浜キャンパス24号館310室

出席者：＜提携研究機関＞

王勇(浙江工商大学)

高小康(中山大学)

周曉霞(華東師範大学)

康麗(北京師範大学)

マダレナ コルダロ(サンパウロ大学)

クリスティーナ ラフィン(ブリティッシュコロンビア大学)

＜神奈川大学＞

福田アジオ・中村政則・橘川俊忠・田上繁・大里浩秋

佐野賢治・西和夫

主な懇談事項：

1. 福田アジオ拠点リーダーから出席者の紹介
2. 提携研究機関代表者自己紹介
3. 若手訪問研究員・派遣研究員についての意見交換

